

審議会等の議事の要旨（要点）

（基本情報）

会議名称	第 15 期 第 1 回立川市環境審議会
開催日時	令和 8 年 3 月 9 日（月曜日）15 時 00 分～16 時 30 分
開催場所	立川市役所本庁舎 302 会議室
次第	1 副市長挨拶 2 環境審議会会長及び副会長選任 3 議題 （1）家庭で取り組むエコチャレンジ 2025 審査について （2）立川市域電力データ分析について （3）たちかわし環境ブック 2025 について （4）たちかわし環境ブックの見直しについて （5）その他
配布資料	資料 1 第 15 期 立川市環境審議会委員名簿 資料 2 立川市環境基本条例 資料 3 立川市域電力データ分析について 資料 4 環境ブック特集について 資料 5 環境ブック構成の見直し方針 資料 6 令和 7 年度 家庭で取り組むエコチャレンジ事前審査結果 別冊 たちかわし環境ブック 2025
出席者	[委員] 佐藤 良子、竹下 大輔、西野 海斗、野中 康生、古谷 登美 甲野 毅、山下 英俊、宇賀神 俊介、児玉 大藏、中川 夕香 浅尾 文、近藤 豊（敬称略） [事務局] 卯月 寿一（環境資源循環部長）、小林 直弘（環境政策課長）、 名和 憲甫（環境推進係長）、木村 誠（ゼロカーボン推進係長）、 橋野 友斗（環境推進係）
公開及び 非公開	公開
傍聴者数	0 人
会議結果	・議題（1）：家庭で取り組むエコチャレンジ 2025 について、上位 8 事例 を優良事例表彰チームとする。 ・議題（2）：引き続き電力データの分析を進め、二酸化炭素排出量の削減 に資する効果的な環境施策を検討し、次回以降の審議会でも検 討結果を報告する。 ・議題（3）：たちかわし環境ブック 2025 について、当内容で了承。 ・議題（4）：たちかわし環境ブックの見直しについて、当内容で了承。
担当	環境資源循環部環境政策課環境推進係 電話 042-528-4341

第 15 期 第 1 回立川市環境審議会 会議録

開催日時 令和 8 年 3 月 9 日（月曜日） 15 時 00 分～16 時 30 分

開催場所 立川市役所本庁舎 302 会議室

出席者〔委員〕佐藤 良子、竹下 大輔、西野 海斗、野中 康生、古谷 登美、
甲野 毅、山下 英俊、宇賀神 俊介、児玉 大藏、中川 夕香、
浅尾 文、近藤 豊（敬称略）

〔事務局〕卯月 寿一（環境資源循環部長）、小林 直弘（環境政策課長）、
名和 憲甫（環境推進係長）、木村 誠（ゼロカーボン推進係長）、
橋野 友斗（環境推進係）（敬称略）

1 副市長挨拶

第 15 期立川市環境審議会の開催に伴い、小林健司副市長より挨拶。

2 環境審議会会長及び副会長選任

環境審議会会長、副会長について、立川市環境基本条例第 18 条第 6 項により委員の互選となっている旨を説明のうえ、事務局より甲野委員を会長、山下委員を副会長に推薦。

出席者から「異議なし」との意見があり、両名を選任。

3 議題

（1）家庭で取り組むエコチャレンジ 2025 審査について

事前審査いただいた結果について、資料 6 により説明するとともに、優良事例表彰チームの選出について、上位 5 件程度を提案。得票数について 3 票が 2 件、2 票が 5 件、11 票が 1 件という結果となっており、この審議会で選定したい。

○委員意見（概要）

- ・事務局提案は 5 件だが、得票数を鑑みて上位 3 件にするか、なるべく多く表彰したいことから 8 件にするかで決めたほうがよい。事務局としては 8 件表彰でも可能か。
→ 今年度は 7 件表彰なので、8 件表彰でも問題はない。（事務局）
- ・得票数での 5 件選定は難しく、啓発の意味合いも含め 8 件選定することとする。

（2）立川市域電力データ分析について

立川市域電力データ分析について、資料 3 により説明を行った。

○委員意見（概要）

- ・太陽光発電が普及して昼間は需要より発電量が多くなるケースがあり、今後は昼に発電した電力を夜に活用する手段として、蓄電池や昼間にお湯を沸かして夜に使用するなどのエネルギーシフトの検討が必要である。その際にエビデンスとして使える時が来るのではないかと考える。
- ・集計及び課題の整理、考察について一番課題に挙げた部分を出したのか、それとも時間がなくてこの課題しか出せなかったのか。
 - 分析に時間がかかるため、一時的な報告となっている。(事務局)
- ・太陽光発電の売電価格が下がっていることから、自家消費量を増やすことなどの省エネ行動の情報発信が重要になってくるのではないか。
 - 家庭において、電力を作るところから使うところまでの行動変容を案内したい。(事務局)
- ・環境ブック 38 ページの立川市全体のエネルギー消費量は実際に計っている数値ではなく推定値になっている。今回の電力データは電力会社から前年の実際の数字が出てきており、具体的に政策を検討するときの情報として価値があるものだと考える。
- ・電力消費量と太陽光発電量との比較（太陽光発電量の割合）について、資料では太陽光発電量（B）／電力消費量（A）で計算をしているが分母に自家消費量（D）を加えないと正確な数値が出ないのではないか。
 - データの計算方法について、精査し直す。(事務局)
- ・自家消費量（D）については、正確な数値ではなく推計値となっている。そのため、当データを生かすため、市内の実測データを把握できると良い。具体的には、シニア版のエコチャレンジ等を検討してみると良いかもしれない。
 - シニア版エコチャレンジは今後検討していきたい。また、エコチャレンジの改善の取り組みについては第3次環境基本計画にも記載しており、令和9年度予算で要求するかは未定であるものの、見直しについて今後考えていく。(事務局)
- ・全国の自治体でこのデータを活用しているのは立川市だけである。
- ・クリーンセンター焼却炉の発電量を知りたい。
 - 確認して後程回答する。(事務局)

（3）たちかわし環境ブック 2025 について

たちかわし環境ブック 2025 について、令和8年3月発行を予定している。発行に先立って、資料4、別冊により説明を行った。

○委員意見（概要）

- ・第2次環境基本計画の総括として概ね達成できた解釈で間違いはないか。
 - 「たちかわし環境ブック 2025」53 ページに記載の通り、6つの基本方針のうち4つは概ね目標を達成している。また、他2つの目標については、達成が限定

的ではあったが、個別の取り組みでは9割以上の実施が見られた。このことより総括としては、環境像に向けたまちづくりを進めることが出来たと考える。

- ・ 3月19日(木)頃までに何か意見があれば事務局まで。
意見等ないようであれば、当内容で本審議会として了承とする。

(4) たちかわし環境ブックの見直しについて

「立川市第3次環境基本計画(令和7年)」の進捗管理が開始となるため、令和8年度環境ブックより、内容の見直しを進めたい旨、資料5により説明を行った。

○委員意見(概要)

- ・ 評価手法についてはどのように考えているか。
→ 現状の進捗管理は、アクションプランごとに実施・未実施のみで表現しているが、評価としては不十分であった。そのため、実施・未実施に加え、成果や課題の抽出、見直し等を検討し、総合的な評価を行う手法を考えている。(事務局)
- ・ 次の環境ブックの作成時期はいつ頃を予定しているか。
→ 第2回立川市環境審議会以案を出させていただくことを予定している。(事務局)
- ・ 「たちかわし環境ブック2025」事業系ごみ排出量の現状の値と目標値が乖離しているが、目標値の設定と考え方について伺う。
→ 第3次環境基本計画の86ページに成果指標の考え方を掲載しており、令和11年度に令和5年度比約15%減少させたいという実現可能な値を目標値としている。第2次環境基本計画では旧清掃工場の炉の延命を図ることと、市外の民間処理施設で処理していることを考慮して目標値を設定したため排出量の乖離があるが、それらの要因を除いた実際に市内で発生しているごみの排出量が第3次環境基本計画の考え方である。(事務局)
- ・ 3月19日(木)頃までに何か意見があれば事務局まで。
意見等がないようであれば、当内容で本審議会として了承とする。

(5) その他

○「立川市域電力データ分析について」における委員意見について

- ・ クリーンセンター焼却炉の発電量を知りたい。
→ 令和6年度に約1,270万kWhを発電し、約43% 550万kWhをクリーンセンター施設内で使用し、残りの57% 720万kWhを電気事業者に売電し、この電気事業者から電力を購入し、本庁舎と総合リサイクルセンターで使用する電気の地産地消を行っている。

○次回の環境審議会について

令和8年9月頃開催を予定している。

以上